

## 若い世代の子どもや子育て世代との交流・体験事業

### 『森のつみ木広場』開催報告

報告者 公益財団法人静岡市まちづくり公社

令和6年10月12日（土）に講師の公益社団法人オイスカをお招きし、木材利用促進月間である10月に、国産材の木のおもちゃや一万個の積み木に触れて遊びながら日本の森や森の役割を紙芝居などで学ぶ親子と学生向けのワークショップを開催しました。

ワークショップの最後に親子と学生の座談会を保育士の資格を所有している講師と一緒に進行し現在のライフスタイルや将来のライフスタイルについて考えました。

1万個の積み木を出すと会場内がヒノキの香りでいっぱいになり、自然と笑顔がこぼれる親子と学生の姿がみられ、3種類の形しかない積み木を自由に積んでいくとあっという間に時間が過ぎていったことに参加者の皆さんも驚いていました。各々作っていた作品が一つに繋がるストーリーがあったので自然と学生と親子の交流が生まれました。

今回参加してくれた学生も夢中になって積み木で遊んでおりスマホやテレビゲーム以外に集中して自然のもので遊ぶ姿がみることができて大変感慨深かったです。

座談会では保育に興味のある学生も多く、親子の話真剣に聞き、自分の幼かったころを思い出し重ねて考えて、当時の親の気持ちに気づいたなど語ってくれました。

おおむね将来のライフプランについてかんがえるきっかけになったと回答がありました。

